

紙粘土と芯材を使ってチリンチリンと涼しい音のするパイプ風鈴をつくってみましょう

パイプふうりんをつくらう

作品づくりのオススメポイント

- 季節感のある風鈴の作品が芯材を使って簡単につくれます。
- 紙粘土で製作する部分が少ないので小さなお子様でも短い時間でつくる事ができます。
- 完成した作品を児童が持って帰って自宅などで使う事ができます。

用意するもの



- パイプふうりんの芯材
- ヘラ
- スーパーNクレイ(50g)
- 水彩絵の具
- 粘土板
- 色鉛筆



1 粘土で芯材を包むように貼付けます。

POINT 底の部分と上のモールが通る穴は開けておきます。



2 細かい部分をつくり、粘土を乾燥させます。

POINT 粘土は押し付けるだけでなく、回りをしっかりなじませます。



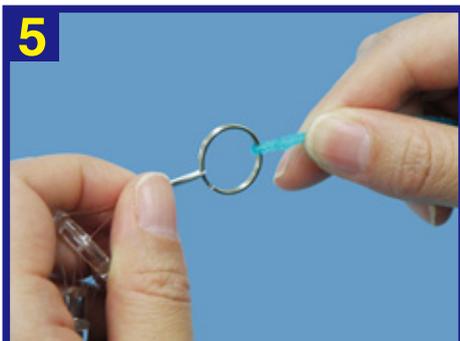
3 粘土が乾燥後、絵の具で色を塗ります。

POINT 仕上げにニス塗るとツヤが出て絵の具がはがれず作品が長持ちします。



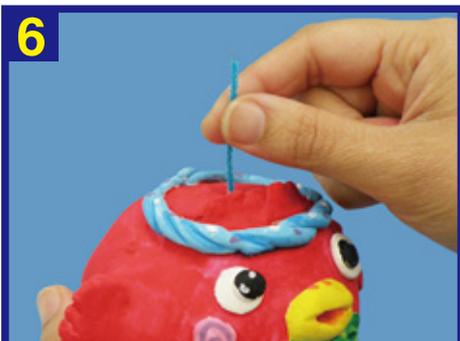
4 短冊に色鉛筆やマーカーで絵などをかきます。

POINT 短冊にシールを貼ったりしてオリジナルの短冊を製作しましょう。



5 パイプふうりんのリングにモールの結び付けます。

POINT パイプふうりんはポリ袋から出しておきましょう。



6 モールを芯材の作品の穴に通し完成です。

POINT 穴がふさがっている場合はつまようじなどで穴をあけます。

